

2007年8月6日

各 位

会 社 名 東洋紡績株式会社
代 表 者 名 取締役社長 坂元 龍三
コード番号 3101
上場取引所 東証、大証、各一部
お問い合わせ先 総務部長 矢野 邦男
(TEL.: 06-6348-3221)

**米国における「ザイロン®」繊維を用いた防弾ベストの訴訟の提起に関する
訴状受領のお知らせ**

当社は、米国における以下の訴訟について訴状の送達を受けましたので、下記の通りお知らせします。なお、この送達手続きは、ヘーグ国際条約に従った国際送達手続ではなく、米国政府（司法省）との協議に基づき当社が代理人弁護士を通して米国で訴状を受領したものです。

- ・2007年6月26日付けの米国コロンビア特別区における訴訟

記

1. 訴訟の原因及び提起に至った経緯

原告は、米国政府です。

原告は、米国の防弾ベストメーカーであるアーマーホールディングス社、ポイントブランク社、ファーストチョイス社、ゲーターホーク社、プロテクティブプロダクトインターナショナル社から、当社の「ザイロン®」繊維を用いた防弾ベストを購入しました。

原告は、「当社が防弾ベスト用途に販売した『ザイロン®』繊維には欠陥があるということと、『ザイロン®』繊維は当社およびこれらの防弾ベストメーカーが表明したよりも早く劣化するということが当社が知っていた」と主張しています。さらに原告は、「当社の行為および表明の結果として、欠陥のある防弾ベストに対して金銭を支払った」と主張しています。

この訴訟においては、当社および当社の米国子会社である東洋紡アメリカ株式会社が被告とされています。

原告は、米国不正請求禁止法違反、詐欺、不当利得を理由に、損害賠償請求を提起しました。

2. 訴訟を提起した者

米国政府

3. 訴訟の内容および損害賠償請求金額

- | | |
|-------------|-------------------------|
| (a)訴訟の内容 | 損害賠償および民事制裁金の支払等を請求する訴訟 |
| (b)損害賠償請求金額 | 記載なし |

4. 今後の見通し

本件による当社業績への影響は現時点では不明です。

5. その他の訴訟

現在、上述の防弾ベストに関連し、米国の防弾ベストメーカーであるセカンドチャンス社との訴訟、同社製の防弾ベストに関する米国政府との訴訟など米国において当社を被告とする複数の訴訟が係属しています。

なお、セカンドチャンス社は、2004年10月にアメリカ連邦破産法に基づく破産の申請を行っています。

以 上